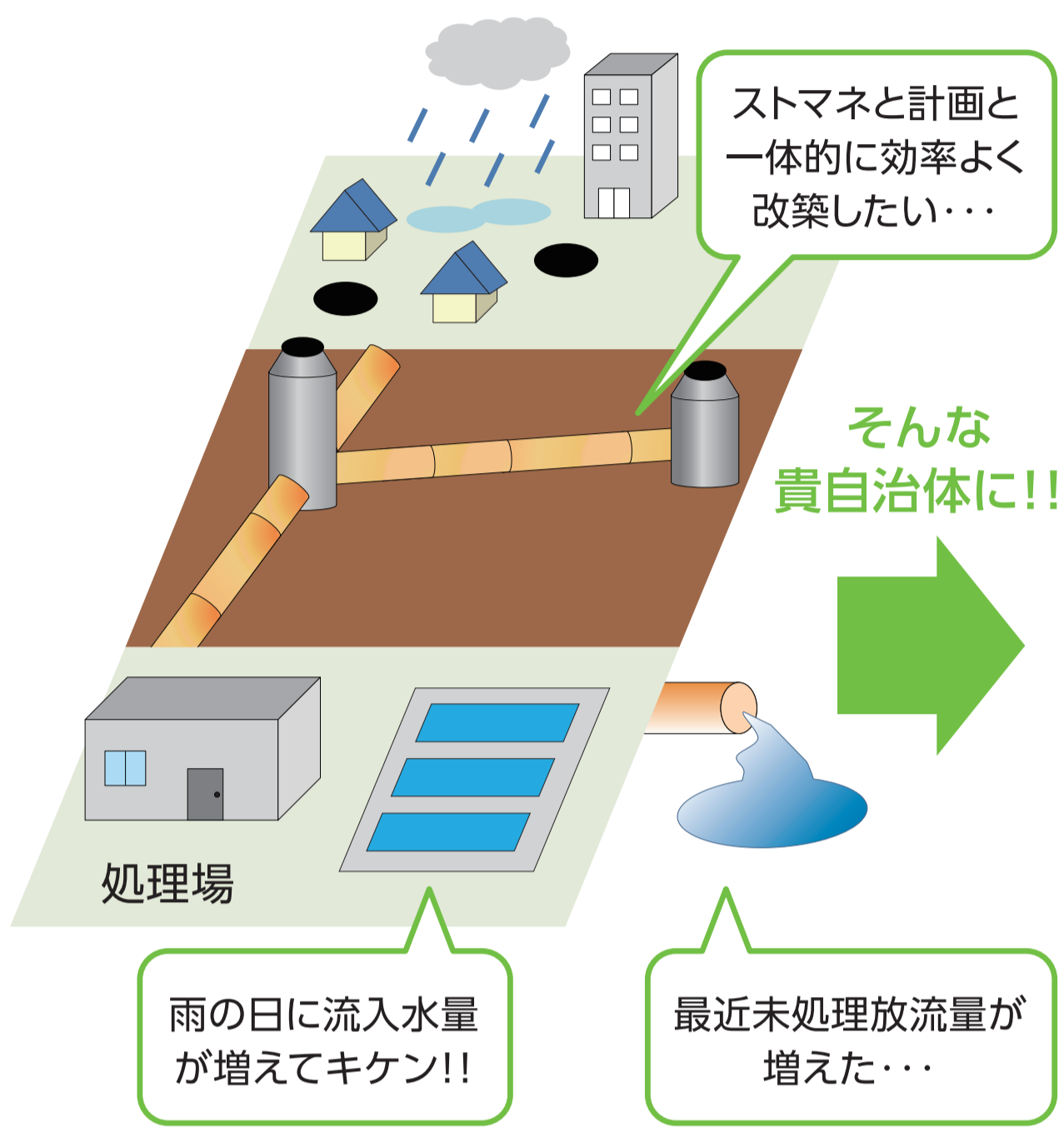


雨天時対策

これからの雨天時浸入水対策・浸水対策を見据えて

日水コンは、あらゆる規模の自治体業務や多数の国土交通省(以下、国交省という)業務の実績を活かし、貴自治体(あなた)にベストフィットする、時代を見据えた一歩先の対策を提案します。

雨天時浸入水対策 浸入水で困っていませんか？



雨天時浸入水対策計画

「雨天時浸入水対策ガイドライン(案)」に基づく雨天時浸入水対策計画の策定により、発生源対策、施設対策、運転管理を組合せ、地域の実情を考慮した対策を実施

- 絞込み調査
EC計*等で浸入箇所を効率的に絞り込み
- 改築更新計画
雨天時の水量を考慮した規模で施設を更新
- 運転管理計画
処理場管理のプロフェッショナルたちが最適な施設運転を提案、サポート



※水質測定(電気伝導度、温度など)による不明水調査は、日水コンの特許(特許第4980478号不明水流入箇所特定装置)です。

日水コンのココがスゴい!!

- 雨天時対策のガイドライン策定段階から本省業務を支援!
- 全国各地で検討事例あり

代表的な業務実績

雨天時浸入水対策

国交省業務:
R1~R4雨天時における下水道の適正処理等に係る検討業務(ガイドラインの策定を支援)
検討自治体事例:神戸市、滋賀県、帯広市...他多数

浸水対策

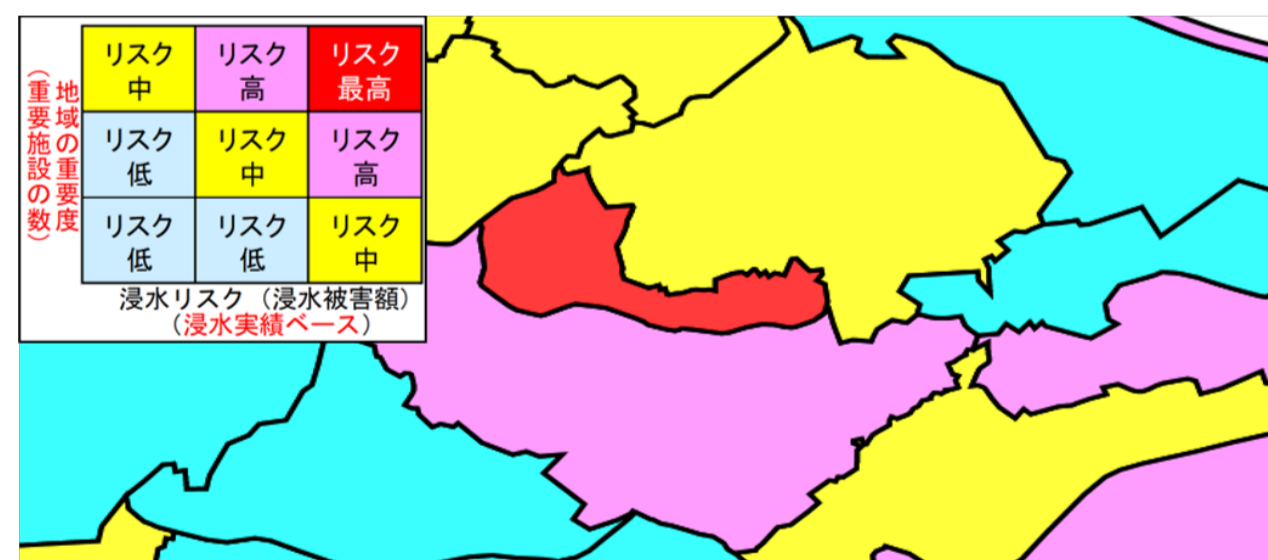
国交省業務:
R1~R4下水道による総合的な都市浸水対策の推進方策検討業務(気候変動の影響検討、ガイドライン類改定など)
検討自治体事例:帯広市、旭川市、苫小牧市...他多数

浸水対策 雨の不安はありませんか？



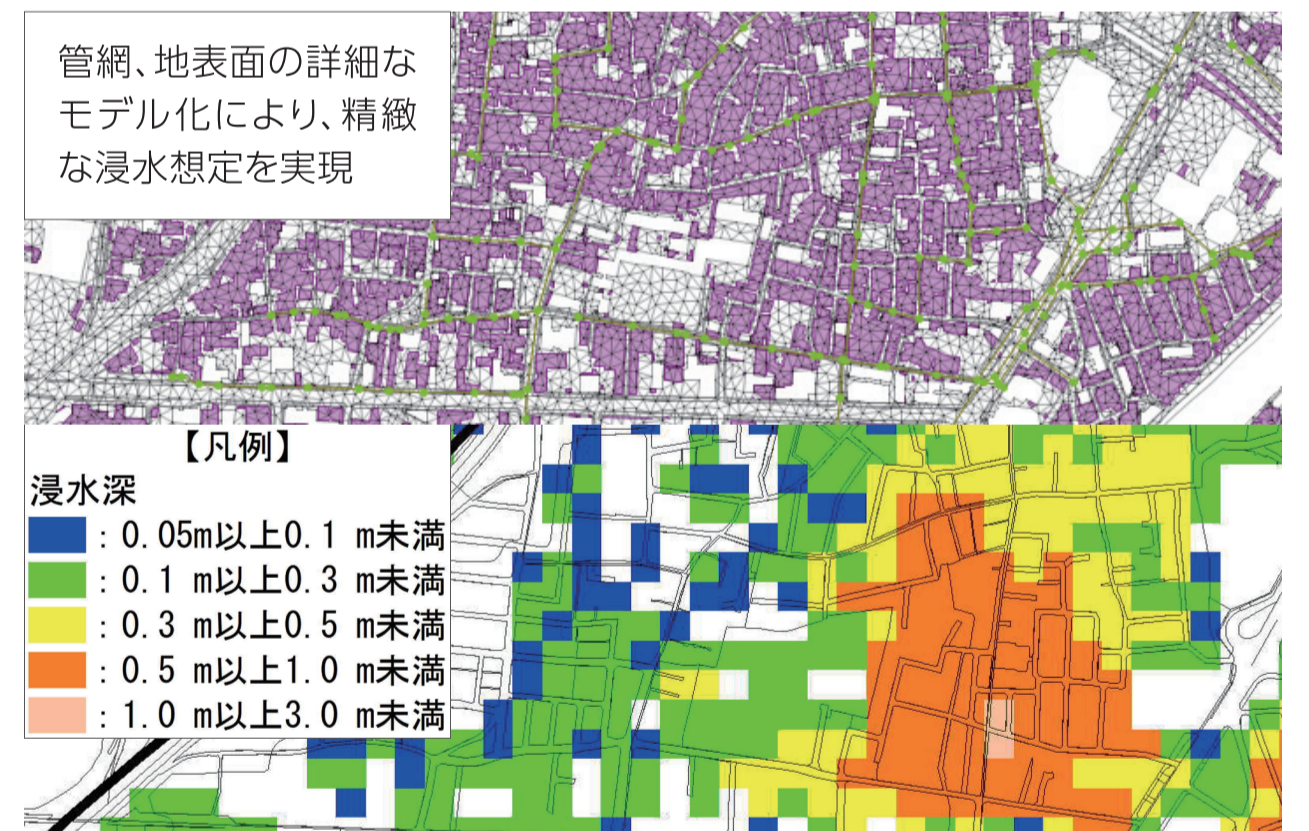
雨水管理総合計画(雨水管理方針)

対外的な説明責任も果たせるように浸水実績やリスク、施設の重要度を基にした適切な整備優先順位を設定



内水ハザードマップ

2021年度(令和3年度)の水防法改正により、下水道整備区域において想定最大降雨による浸水想定、内水ハザードマップの公表が必要
当社では、自治体の雨水整備状況、資料の保有状況に応じた浸水想定手法を用いて速やかに浸水リスクの把握を実施



まとめ

- 雨天時浸入水は、四半世紀以上未解決の問題であり、その要因も複合的です。そのため、最新の動向を踏まえた雨天時浸入水に特化した対策と、他事業と連携した総合的な対策を実施することが効果的です。下水道事業全体を見通し、最適な雨天時浸入水対策を提案します。
- 多岐にわたる事業主体間で円滑な合意形成を図るためには、河川と下水を一体的に扱い、各事業者が個別に対策する場合に対し、総合的に行う場合のメリットを定量的に示すことが有効かつ不可欠です。雨水管理総合計画の考え方を拡張した総合的な内水対策計画を提案します。



雨水解決ソリューション
雨水のお悩み解決します!